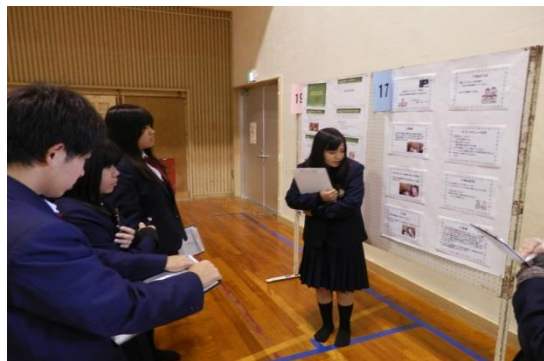


研究の成果と評価

- 探究学習Ⅰとして取り組んだ、伊良部高校フードフェスタは短期間での実施だったため、生徒を疲弊させてしまい、思うような成果はあげられなかった。しかし、販売活動を通して生徒たちが普段とは違う視点で地域を見ることができたため、地域の良さや課題等を感じるきっかけとなった。
- 先進校視察では、特に探究学習で顕著な実績を上げている京都市立堀川高校と情報交換をすることができた。ポスターセッションの手法や探究の仕方を学び、ポスター作成のためのヒントを得て、生徒たちのポスターづくりに生かすことができた。
- 探究学習Ⅱとして取り組んだ地域学習、インターンシップによるポスターセッションは仮説、検証という論理的思考を学ぶ導入段階としての知識・技能や表現力、コミュニケーション能力を養うことができた。しかし、内容が乏しいものもあり、仮説の立て方からしっかり学ばせ、調査・分析・検証を行わせる必要がある。
- 探究学習Ⅰから探究学習Ⅱへつなぐことはできなかったが、一定の成果はあげる事ができた。



今後の課題

今年度、探究学習は初めての取り組みであり、計画的に進めていくことが難しかった。また、探究とは本来、「すべては、君の知りたいから始まる」と言われているように、各自の知りたいことが原点となることから、テーマを与えるのではなく、オープンな中から各自の興味関心に基づいたテーマを見つけていくことが重要だと感じた。また、職員と生徒との関わり方も重要となってくるため、今後研修を重ねる必要がある。

次年度からは職員が少ない中で、どのような組織体制でより効果的な探究活動を行っていくかが課題である。それぞれの学年で探究活動を1年間通して効果的に行えるよう、年間計画を作成し、内容の検討や取り組み方の工夫等を積み重ね、「伊良部高校ならではの探究学習」を創り上げていきたい。

